

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
藤井 久美子			
月2、3			
添付ファイル			

科目の概要	社会環境の変化、少子高齢化の進行など、現状にはさまざまな課題がある。そのような中で、社会や環境と健康の関係を理解し、社会や環境の変化が健康に与える影響を正しく理解することが重要である。本科目では、公衆衛生の視点に立ち、疫学的知見から集団における生活習慣と健康状態との因果関係や、健康増進や疾病予防の考え方やその施策について学ぶ。さらに、個人の健康管理の方法について理解を深める。また情報過多の現在における健康情報の利用方法や情報統合についても理解する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等） 健康情報 ・健康情報について ・健康情報の収集 ・ホームページの活用 ・健康情報のマネジメント ・保健医療情報システム</p> <p>第2回 健康の捉え方 ・健康の定義 ・健康観 ・予防医学の考え方</p> <p>第3回 健康の指標と現状(1) ・人口 ・出生、婚姻、離婚 ・死亡 ・寿命</p> <p>第4回 健康の指標と現状(2) ・健康状態と受療状態 ・人口統計に用いる比率</p> <p>第5回 健康増進(1) ・健康増進のための3つの要素</p> <p>第6回 健康増進(2) ・健康づくりのための施策</p> <p>第7回 生活習慣と健康(1) ・栄養・食生活 ・運動 ・ストレスと休養・睡眠</p> <p>第8回 生活習慣と健康(2) ・喫煙 ・飲酒 ・環境 ・歯科</p> <p>第9回 疾病の予防(1) ・生活習慣病 ・がん ・循環器疾患 ・代謝疾患</p> <p>第10回 疾病の予防(2) ・骨・関節疾患 ・歯科・口腔疾患 ・感染症 ・精神疾患 ・自殺</p> <p>第11回 健康管理の進め方(1) ・健康維持のための健康管理 ・健康管理の体系 ・健康教育 ・健康相談 ・集団健康診断と集団検診</p> <p>第12回 健康管理の進め方(2) ・スクリーニング</p> <p>第13回 健康管理の実際(1) ・地域の健康管理 ・母子の健康管理 ・学校の健康管理</p> <p>第14回 健康管理の実際(2)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の健康管理 ・高齢者の健康管理 ・高齢者医療制度の概要 <p>第15回 まとめ 第1回から第14回までの内容を復習する</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	社会や環境、生活習慣が健康にどのような影響を与えるかを理解できる。 健康や疾病予防に関する基本的な知識と健康管理に関する方法を理解できる。 時代の変化を把握し、判断し行動するための基礎的スキルを身につける。
授業の方法	講義形式
成績評価の方法	授業態度（10%）課題レポート（30%）定期試験（60%）
教科書・テキスト	学生のための健康管理学（南山堂）・配布プリント
参考書	特に指定しない
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	ニュースや社会動向などを通じて、公衆衛生や健康管理などの話題に関心を持つこと
履修上の留意事項	テキストを忘れず持参すること 周りに迷惑となる行為は慎むこと
オフィスアワー	授業終了後に教室で
課題に対するフィードバックの方法	課題レポートは、次回の授業時間内に返却する
実務経験	管理栄養士
その他	